

Press Release

2021年4月1日

## DMG MORI SAILING TEAM 白石康次郎選手と次回 Vendée Globe2024 挑戦へ 日本でのセーリング文化普及と若手育成への取組を推進

プロフェッショナル外洋セーリングチーム DMG MORI SAILING TEAM（以下、当チーム）は、3月31日（水）に東京都内で記者会見を行い、スキッパー白石康次郎選手とDMG 森精機株式会社 取締役社長 森雅彦が登壇し、Vendée Globe2020-2021 を完走したことの報告と、今後の活動方針について発表しました。

Vendée Globe2020-2021 では、レース6日目にDMG MORI Global One 号のメインセールが破損するも、船上で白石選手が単独で修復、レースを続行し、単独無寄港無補給、最も過酷といわれる世界一周レースにおいて、全33チーム中16位で、アジア人初の完走を成し遂げました。

また、世界一周をするレース中には、一般商船や海洋調査船の航行が少なく、研究調査がまだ行き届いていない南氷洋等を含む合計6箇所海洋マイクロプラスチックのサンプルを採集しました。会見中に、白石選手よりJAMSTEC（国立研究開発法人海洋研究開発機構）地球環境部門 海洋生物環境影響研究センター長 藤倉 克則 様に採集したサンプルを提供しました。今後 JAMSTEC にて、研究調査が行われます。

また、当チームは今後以下3つの方針で活動してまいります。

- ① 白石康次郎選手と Vendée Globe2024 に挑戦
- ② 日本にもっとヨット、セーリング文化を普及
- ③ 若手スキッパー、エンジニアの育成

まず1つ目は、4年後の次回 Vendée Globe2024 に白石康次郎選手と出場し、レース完走と8位入賞を目指します。新艇は建造せず、Vendée Globe2020 を走り抜いた DMG MORI Global One 号をさらに改良させ、2022年より予選レースに出場する予定です。

2つ目に、日本においても欧米のようにヨットやセーリングがもっと身近に感じられるよう、セーリング文化を普及させていきたいと考えています。そのため、この夏、DMG MORI Global One 号を日本に持ち込み、日本国内3つの港（暫定で横浜、愛知、神戸）でイベントを開催します。当チームをご支援いただいているスポンサー、メディア、ヨットおよびセーリングに興味関心のある方々に加えて、地域の小学生やご家族など、幅広く参加を募り、乗船体験や艇内部を見学する内容を計画しています。また、国内レースへの参加も予定しています。

3つ目に、世界に挑戦する若手外洋スキッパー、シヨアクルーとエンジニアの育成に取り組みます。若手の登竜門として位置づけられる全長6.5メートルの艇「Mini6.50」クラスを当チーム拠点のあるフランスと日本に導入します。小型かつ安価で取扱いやすいことから世界中に多くの競技者がおり、全長18.28メートルの「IMOCA60」

クラスを操る Vendée Globe のスキッパーも、まずは Mini6.50 クラスから始めるトップセーラーがとても多いのです。

今後も、DMG MORI SAILING TEAM にご支援、ご声援をいただけますようお願いいたします。

#### ◆参考

・JAMSETC 公式 HP: <http://www.jamstec.go.jp/j/>

・JAMSTEC が挑む海洋プラスチック問題: <http://www.jamstec.go.jp/ocean-plastic/j/>

・調査研究問合せ先: JAMSTEC 広報課 ([press@jamstec.go.jp](mailto:press@jamstec.go.jp))



Vendée Globe レース中に採集したマイクロプラスチックサンプルを JAMSTEC へ提供



今後の DMG MORI SAILING TEAM 活動方針を発表

以上